

広島大学短期交換留学 (HUSA) プログラム 派遣留学報告書

	記入日 平成 26 年 1 月 19 日			
所属学部・研究科	文学部 3年次 (留学開始時点)			
留学先大学	釜山大学校 (国名:韓国)			
所属学部・学科等名	人文学部 言語情報学科			
在籍身分	交換留学生			
留学期間	平成 25 年 8 月 31 日 ~ 平成 25 年 12 月 17 日			
1. 渡航について				
ビザについて	ビザの種類: D-2			
	ビザ申請先: 広島領事館			
	取得方法, 提出書類: 申込書, 入学証明書, 銀行の残高証明書, パスポートを持って、領事館で提出をしました。			
	手続きに要した日数: 1 日			
その他必要な事前手続き				
出国年月日	平成 25 年 8 月 31 日			
経路	北九州空港~金海空港まで飛行機			
現地での出迎え	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (・大学関係者 (チューター) ・その他) <input type="checkbox"/> 無			
到着後オリエンテーションの実施状況・期間・内容	大学生活については9月1日に英語、韓国語・中国語の二回に分けて実施 寮のオリエンテーションは9月17日に英語・中国語・韓国語で一度に実施			
帰国年月日	平成 25 年 12 月 17 日			
経路	金海空港~北九州空港まで飛行機			
2. 留学経費について				
所要経費	総額	376,830	円	
	内訳	渡航費	32,550	円
		保険料	51,980	円
		教科書代(学費)	4,300	円
		宿舍費	120,000	円
		食費	50,000	円
		その他 (娯楽 費)	90,000	円
(交通 費)	20,000	円		
(帰国時荷物郵送費)	8,000	円		
3. 授業について				
2013 年 2 学期	9 月 2 日	~	12 月 16 日	

年 学期	月 日 ~ 月 日
年 学期	月 日 ~ 月 日
年 学期	月 日 ~ 月 日
授業の概要について (カリキュラム, プログラム等)	留学生のための授業、現地学生の授業など、自由に授業を選択することができ、韓国語の授業は二つあります。
単位互換希望の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ※有の場合、所属学部支援室へ提出の単位認定申請書類のコピーを添付すること
学術面に関する後輩へのアドバイス	韓国語の授業はクラスが2つしかないので、自分のレベルに合った授業ではない場合もあります。現地学生との授業を取る場合、あらかじめ言語を勉強していた方がよいです。また、履修登録は先着順なので、登録期間前に前もって決めておくことをおすすめします。
4. 生活等について	
(1) 留学先の住居について	
住居の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 大学の寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他 ()
住居の広さ	約 22.4 m ² 同居人の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 (1 人) <input type="checkbox"/> 無
住居に附属する設備	<input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> ガス <input checked="" type="checkbox"/> 水道 <input type="checkbox"/> 給湯 <input checked="" type="checkbox"/> シャワー <input type="checkbox"/> 風呂 <input checked="" type="checkbox"/> 水洗便所 <input checked="" type="checkbox"/> 暖房 <input checked="" type="checkbox"/> 冷房 <input type="checkbox"/> 台所 <input type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> 固定電話 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット <input checked="" type="checkbox"/> その他 (コンビニ、ジム、洗濯室、アイロン、勉強室 など)
住居費	1ヶ月当たり 330,000 ウォン (昼食・夕食付) (現地通貨) 約 29,700 円
住居を決定した方法	<input checked="" type="checkbox"/> 留学先大学の紹介 <input type="checkbox"/> 友人・知人の紹介 <input type="checkbox"/> 不動産業者 <input type="checkbox"/> その他 ()
留学先での住居全般に関するアドバイス	大学の寮は比較的新しく、設備も整っており住みやすかったのをお勧めします。ジムも有料ではありますが利用することが出来ます。寮まで坂がありますが、運動不足の解消になりかえってよかったですと感じました。
(2) 医療について	
1日以上入院を要する病気・怪我等を	<input type="checkbox"/> した <input checked="" type="checkbox"/> なかった
入院した場合	により 日入院
留学に当たり保険を	<input checked="" type="checkbox"/> 掛けた <input type="checkbox"/> 掛けなかった
掛けた場合	<input checked="" type="checkbox"/> 日本 <input type="checkbox"/> 留学先国 <input type="checkbox"/> その他 ()
掛け金は	年間 51,980 円 補償額 死亡 1000万円, 入院1日 円 その他 ()
留学前後での予防接種の必要の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
有の場合, その種類, 回数, 費用, 受けた医療機関名	
日常的な健康について不安が	<input type="checkbox"/> あった <input checked="" type="checkbox"/> なかった あった場合その理由:
留学先国の医療事情 (日本と比較して)	医療機関を利用していないのでわかりませんが、友人に聞く限り、日本と差はあまりないようでした。

留学先での健康管理, 衛生面について特に注意すべきこと	冬は日中と夜間の気温差が大きいため、服装を工夫する必要がありました。 また、冷房・暖房が効きすぎている状況が多々あったので、体調を崩さないように気を付けてください。	
(3) 危険を感じた地域, 状況		
特にありませんでした。しかし、夜に一人でタクシーに乗ることは、現地の人も警戒するくらいのことだそうですので、控えた方がいいと思います。		
(4) その他生活等に関して参考となる事項		
友人と出かけたり、ご飯を食べたりすると、現地の文化も知ることができますし、仲を深めることもできるので、積極的に行うことをおすすめします。		
5. 帰国後の進路について		
卒業予定年月	平成 27 年 3 月 (当初の卒業予定年月 平成 27 年 3 月)	
卒業が遅れる見込みの場合, その理由	<input type="checkbox"/> 4年次に留学したため <input type="checkbox"/> 単位不足のため <input type="checkbox"/> 新卒で卒業するため <input type="checkbox"/> その他 (具体的に)	
現在の状況および今後の予定・進路等	就職活動中です。卒業後の進路は一般企業へ就職を希望しています。	
就職活動や留学前の単位取得, 教育実習等についての工夫	3年前期の段階で卒論の単位以外の単位は、ほぼ取得して留学に行きました。	
6. 留学準備, 留学中に役立った書籍, ウェブサイト等		
書籍, サイト名	詳細 (出版社, URL 等)	コメント
コネスト	http://www.konest.com/	韓国についての情報サイト
プサンナビ	http://www.pusannavi.com/	釜山に着いての情報サイト
7. 自由記述 (後輩へのアドバイス等)		
語学堂での学習ではなく、大学で行われている授業を受けるため、留学に行くまでとにかく言語の勉強をしておくことが大事です。また、様々な国から留学生が来ているので、授業や寮などで積極的に交流すれば、非常に充実した留学生活を送れると思います。また、大学から情報が送られてくるのが日本ほどきっちりしていないので、留学生同士で情報交換を行うことも重要かもしれません。		

学習の概要に関するレポート

留学派遣先の釜山大学では、1科目3単位の授業を計12単位以上取らなければならなかったため、4科目を受講しました。交換留学生用の韓国語のライティングの授業とスピーキングの授業を1個ずつ、他には日本語学科の授業を2つ受講しました。

韓国語の授業はライティングⅠとⅡ、スピーキングⅠとⅡの4カリキュラムがあり、それぞれⅠが初級、Ⅱが中級にあたります。私は、ライティングはⅠを、スピーキングはⅡを受講しました。最初の授業を受けてみると、Ⅰのカリキュラムの方は、ハングルを一から学ぶといった学習内容であったため、自分の学びたいレベルには合っていないと感じ、クラスを変更したいという旨を先生に伝えました。すると、上のクラスの先生に直接話を伝えに行き、了承がもらえればクラスを変更してもよいとのことでした。そこで、上のクラスの先生に話をしに行ったのですが、もう人数を増やしたくないので、受け入れはできないと言われたため、初級の授業を受けることになりました。この授業では、レベル1の教科書が指定されていました。中間テストでは、教科書の内容の進んだ課までが試験範囲でペーパーのテストを受けました。期末テストも同様でした。

スピーキングはⅡを受講することができたため、授業を通して韓国語の能力を向上させることができたと感じています。この授業には、ハングルを読むことができるくらいのレベルの学生から、超上級者まで様々なレベルの学生がいたため、みんなで相談をして教科書を選び、中級の教科書で授業を進めることになりました。授業では教科書の内容半分、先生が持参した、TOPIKという韓国語能力試験の問題に沿ったプリント半分という形が進められました。スピーキングの授業なので、一人一人あてられ、教科書やプリントに沿って質問された事に答えるという形式で進められました。中間テストは、5つあるテーマを事前に通知され、発表の直前に自分でくじを引いてその中のテーマの一つについて10～15分間の発表を行うという形式でした。期末テストは、ランダムに2,3人のチームが生まれ、ことわざや慣用句を用いて会話を行うという形式が一つ、その後先生と一対一で会話を行うと形式の計二つのテストが行われました。

日本語学科の授業は現地の学生と一緒に受ける授業でした。一つは「日本語作文」という授業を、もう一つは「日本語語彙授業」という授業を受講しました。履修登録当初は、「外国語としての韓国語」という自分の所属学科である言語情報学科の授業と、「留学生のための文化授業」というものを受講していたのですが、前者は自分の語学レベルではついていけない感じのため、また、後者は教授の都合で、授業時間が変更され、他の授業と時間が重複してしまったため受講を取りやめました。

日本語作文の授業は日本語の文を韓国語に、あるいは韓国語の文を日本語に訳すといった内容であったため、ライティングの能力を向上でき、受講してよかったと感じました。また、日本語を学習している学生ばかりであったので、授業を通して友人も増えました。中間テストも期末テストもペーパー式のテストが行われました。

日本語語彙授業は日本語の似通った言葉、例えば「走る」と「駆ける」の違いを調べ、韓国語で発表をするという授業でした。日本語の微妙な違いを韓国語でどのように説明するかを考えることにとても苦労し、また私を含めて6人しか学生がおらず、一回の授業で2人が発表をするため、計7回の発表をすることになり、人前で話すことが苦手な私には非常に大変でしたが、終えてみると良い経験をすることができたなと感じます。中間テストと期末テストはペーパー式のテストでした。

合計4つの授業を受講したのですが、一つの授業を除いて、自分の韓国語能力を向上することができたと感じています。反省としては、やはり履修登録を早めにできず、自分を取り残した授業を受講できなかったことです。情報不足でした。しかし、非常に実のある1学期間になりました。



生活の概要に関するレポート

私が過ごした寮は、比較的新しく清潔であったため、快適に暮らすことができました。部屋は、2人部屋で、机とベッドとクローゼットがあるのですが、広さは十分でした。トイレとシャワー室は一緒ですが、不便な広さではありませんでした。冷房と暖房が各部屋に付いており、冬は韓国ならではのオンドルという床暖房で部屋がぽかぽかになりました。冷房、暖房共に調節があまり効かないので、冷房の温度が低すぎたり、暖房の温度が高すぎたりする場合があります。ですので、乾燥や風邪に注意する必要がありました。

相部屋となる人の組み合わせですが、学籍番号順に組み合わせられており、どの国の人と相部屋になるかは、ランダムのような感じでした。しかし、同じ大学から来ている学生は、番号が連続しているため相部屋になるケースが多いようでした。2学期間留学をする人は、2学期目から、ルームメイトになりたい人と一緒に申請をすれば、受理されるそうです。

インターネットは有線であり、LAN ケーブルは日本から持参するか、文房具屋やコンビニなどで購入する必要があります。ベッドのシーツは申請をすれば無料で貸出しがあり、布団も一か月 10,000 ウォンでレンタルできましたが、私は学校正門の横にある百貨店の中の家具屋で購入しました。

各階にはウォーターサーバーがあるので、タンブラーなどに入れて持ち歩いていました。また、お湯も注ぐことができるので、昼食や夕食が食べられなかった時には、カップラーメンを食べることもでき、非常に便利でした。

寮には食事が付いているので、地下1階の食堂で食事をとることになります。朝食は7時～9時、昼食は12時～14時、夕食は17時半～19時となっているので、出かけていると夕食は間に合わないことも多くありました。しかし、大学の正門から駅にかけて、飲食店などで賑わっているため、食べ損ねても心配はありませんでした。また、寮の中にもGSというコンビニが入っているので、とても便利でした。

洗濯をする場合は地下2階の洗濯室に行き行きます。洗濯した後は、サンルームになっている部屋のベランダに干すこともできますし、洗濯室に乾燥機があるので、1000ウォン（約100円）で利用することができます。

寮は、正門から徒歩で20分程坂を登ったところにあり、留学前は運動不足になるかと思っていましたが、毎日いい運動になりました。もっと運動をしたいという人は、月3万ウォン（約3,000円）で地下2階にあるジムを利用することができます。また、寮の裏には運動場があるので、無料でランニングを行うことができ、とても運動しやすい環境でした。

正門から釜山大駅という最寄りの駅までは、徒歩で15分程度かかるため、面倒である場合や急いでいる時には、寮から5分程度の所から学内から駅を巡回するバスに乗って行くこともできます。運賃も550ウォン（約55円）と非常に安いので利用しやすかったです。

韓国の人は時間にもあまり神経質ではなく、行事も予定通りに行われなくても多かったので、そのことに慣れることが少し大変でした。また、日本のように何も言わなくてもやってくれるという事は決してないので、自分から行動していく積極性が身に着いたと感じました。約4か月間という短い期間でしたが、非常に充実した留学生活を送ることができました。



寮の外観



部屋の様子